

特集

「面会制限」が 患者の意思決定にもたらした 倫理的課題

コロナ禍で患者・家族を支援した看護師の経験から

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は全国に広がり、病院や地域の医療体制にも大きな影響を及ぼしています。特に「面会制限」がもたらした影響は大きく、最期の時間を過ごす場所や療養場所、治療法の選択などにおいて、さまざまな倫理的ジレンマや課題が生じました。

本特集では、COVID-19により顕在化した倫理的課題の中でも特に「意思決定支援」に焦点を当て、病院と地域（訪問看護）それぞれの経験を紹介することで、今後の在り方を考えるヒントを提示します。

